

2013年1月11日

各位

## ＜IR ユニバーシティ:新年のセッション＞

### 「統合報告書とESGの実際、その具体的展開について」

2013年新年、資本市場で期待される企業情報の内容は急速に変化しています。

企業の長期の価値の源泉となる財務情報および非財務情報を統合した情報を求める投資家の声が高まっています。しかし、セルサイドアナリストは、現在、短期の分析に移行しつつあり、かつてのような、ファンダメンタルズ分析にもとづく長期的視野で書かれたレポートは、稀になってきました。財務データに加え、非財務情報を加味しながら、企業の戦略を検証し、そして企業の成長性を予測するといった従来の個別企業の分析作業を行なっているアナリストの数は、急速に減りつつあります。このような状況のもとで、今後は、発行体である企業自らが、財務情報のみならず、非財務情報を上手く活用した企業価値向上に向けた成長戦略を、投資家に直接アピールするコミュニケーションが必要となってくるでしょう。

このような動きにそって、「統合報告書」が、資本市場関係者では注目を集めています。従来のアニュアルレポートやIRプレゼン資料に加えて、上記のESG情報を含んだ統合報告書に期待が集まっているということではないでしょうか。また、このことは、IR担当者にとっては、留意しなければならない変化であります。IR活動における「差別化」につながるからです。

ジェイ・ユーラスでは、あずさ監査法人、ブルームバーグ社の協力を得て、非財務情報の開示の実務レベル、特にESG情報をベースとし、既存の企業情報の中から訴えるべきポイントを抽出し、投資家向けのわかりやすい資料を作成するための実践的なコーチングを行っております。

今回1月22日に開催されるセッションでは、具体的な作業の展開方法や、資本市場からの期待、今後の展開について、具体的な議論を行っていきたいと考えます。参加者と講師陣との質疑応答を中心としたセッションですので、2時間半という短い時間ではありますが、各企業が直面している具体的な問題などについて、議論を展開する場にしたいと考えております。

つきましては、下記概要をご確認の上、是非、当セッションにご参加頂きますようお願いいたします。

## <概 要>

開催日：1月22日(火) 午後1時半より4時まで

場 所：大手町フィナンシャルシティ サウスタワー21階 (あずさ監査法人内)

対象者：IR、CSR、経理、経営企画、広報等の実務担当者

目 的：市場／投資家による新しい企業情報ニーズに対応した統合・総括的な情報提供や  
プレゼンテーション・資料の策定

主 催：IRユニバーシティ(事務局 ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社内)

講 師：北川哲雄氏／青山学院大学 国際マネジメント研究科 教授

山本高稔氏／現富士重工業監査役(元野村総研、モルガンスタンレー等におけるトップアナリスト)

芝坂佳子氏／有限責任 あずさ監査法人

齋尾浩一朗氏／有限責任 あずさ監査法人

岩田宜子氏／日本 IR 学会 理事 ジェイ・ユーラス・アイアール(株)

高山与志子氏／ICGN(国際コーポレート・ガバナンス・ネットワーク)理事、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)

協 力：有限責任 あずさ監査法人 ブルームバーグ東京

参加費：無料

### <IRユニバーシティについて>

早稲田大学大学院花堂靖仁教授の下、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を事務局とし、2004年発足したIRO養成講座を発展させた、IR関連のオープンセミナー。2012年主管教授が青山学院大学の北川哲雄教授に移管するにあたり、主催大学青山学院大学にて2012年秋にシンポジウムを開催。当名称にてさまざまな関連研究会、勉強会も随時開催している。

### 午後1時半より ベーシックセッション

齋尾講師より、「統合報告書におけるESG報告の実態と今後」(30分)

岩田より、「IRにおける統合報告書の位置づけとESGメッセージ構築の実際」(20分)

### 午後2時半より ディスカッションセッション

統合報告書作成、ESGメッセージ構築に向けた具体的な展開方法などについて、参加者および講師陣への直接質疑応答およびディスカッション

自社におけるESGメッセージへの疑問、懸念、また、統合報告書に関する質問など多数お持ちいただければ幸いです。

山本講師、および講師陣より回答

最後に北川講師より、全体講評

お申し込み方法：別添の『参加申し込みフォーム』にご記入の上、メール添付にてご返信ください。